

通潤橋放水カレンダーをホームページに公開しています！

2020年通潤橋放水カレンダーを「山都町観光ナビ」に掲載しています。広報やまと3月号にも掲載予定ですが、放水のスケジュールをひと足先にお知りになりたい方は「山都町観光ナビ」でご確認ください。

○山都町観光ナビ

<https://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/kanko/>

○通潤橋復興記念式典及びイベント

4月19日(日)実施予定 ※詳細は追ってお知らせします。



問合せ先	工事に関すること	生涯学習課	☎ 72-0443
	復興イベントに関すること	山の都創造課	☎ 72-1158
	放水カレンダーに関すること	山都町観光協会	☎ 72-3855

東京事務所だより

平成30年6月に開設した山都町東京事務所を介して、山都町の紹介や、山都町産の有機野菜、猪肉・鹿肉などのジビエ肉が活用された新しい取り組みをご紹介します！

世界各国のミス・インターナショナルが山都町食材を堪能

ミス・インターナショナル世界大会に参加するファイナリストが、昨年10月に東京都に集いました。ミス・インターナショナルは世界3大ビューティページェントの1つで、その特徴は国際親善や世界平和など国際社会に貢献しようとする出場者が「美と平和の親善大使」として集い交流を深める機会です。日本でも様々な事業活動を行いました。



ミス・インターナショナルの日本滞在時の活動に企業表敬がありますが、その際にケータリングとして山都町産の有機野菜や、鹿や猪のジビエ肉がふるまわれました。ヘルシー志向のファイナリストには大変好評で山都町の食材PRの良い機会となりました。

この事業実現には山都町東京事務所を介しつながったケータリングなどの事業を手掛ける株式会社Aの新納平太(にいろへいた)氏が山都町を何度も訪れ山都町の安心安全な食材を評価され、ご自身の事業活動のなかでPRしていただいていたものです。



東京農業大グリーンアカデミーで山都町を講座議題に

昨年11月26日、東京農業大学のグリーンアカデミーにおいて、「中山間地域の現状と課題」をテーマとした寄附講座を開催し、山都町地方創生アドバイザーである下田美鈴氏が講演を行いました。

平成31年3月に山都町と東京農業大学が包括連携協定を締結し、収穫祭出展など様々な連携活動が始まっていますが、今回は山都町東京事務所が「東京農業大学グリーンアカデミー(シニア向け年間講座)」で寄附講座を企画・実施しました。

約50名の受講者は食や農業に対する関心が高く、山都町と中山間地域の現状を知っていただく良い機会となりました。受講生の大半が山都町を知らないことから日本社会の中で山都町をはじめとする中山間地域の必要性や、生産者の想いが伝わり、受講者からは感動と共感の声をいただきました。講義終了後、受講者からは是非行ってみたいという声を受け、3月に山都町訪問ツアーを企画、実際の山都町を体感していただく予定です。



法務大臣より感謝状と善行章の表彰を受けられました

鬼塚博子さん(下馬尾)に法務大臣より感謝状が贈呈されました。更生保護70周年記念事業として保護観察を受ける人たちの生活の見守り、指導等の更生保護の活動に尽力された方々へ贈られるもので、鬼塚さんは平成4年の更生保護女性会の立ち上げ時からこれまでボランティア活動を継続されていることと、上益城の保護司を平成29年までの14年間務められたことが今回の贈呈につながりました。

また、11月30日に明治神宮で秋篠宮ご夫妻御臨席の下開催された日本善行会の善行表彰式において、平成13年12月より続けられている障がい者福祉施設や小学校等での各種ボランティア活動や、上益城で初めての障がい者作業所である「上益城きぼうの家作業所」の立ち上げと作業ボランティアの会長などの活動が認められ表彰されました。



選挙管理委員会委員長に総務大臣より表彰状が授与されました

1月21日に熊本県庁にて、選挙管理委員会の江藤豊委員長に総務大臣表彰が伝達されました。これは、昨年7月21日執行の参議院議員通常選挙に関して、選挙事務の管理執行に尽力し、投票環境向上の取り組みを率先して行った団体・個人を表彰するもので、投票所への



移動支援や矢部高校出前授業の取組み、高い投票率の達成について、山都町選挙管理委員会の功績が評価されたものです。

表彰を受けた選挙管理委員会の江藤豊委員長



町長室から 梅田 穰

冬で、異常気象が地球規模で続いている。温暖化の要因の一つに二酸化炭素排出量の増加が叫ばれています。山都町が所属する熊本連携中核都市圏でも2050年までに排出実質0を目指す宣言をしました。町民一人ひとりが関心を持ち取り組んで参りたいと思います。

1月25日に第18回九州山地神楽祭りを開催しました。山都町より仁瀬本神社神楽、高畑阿蘇神社神楽、白石神楽、大阿蘇蘇陽太鼓「喜楽」、南小国町より吉原岩戸神楽、五ヶ瀬町より桑野内神社神楽、高千穂町より高千穂の夜神楽の各保存会の皆様による舞と太鼓を披露していただき200名近くの観客の方々

に感動を下さいました。熊本・宮崎・大分の県境地域で脈々と伝統文化を守り続けておられる保存会の皆様をはじめ地域の方々の熱い想いが感じられます。吉原岩戸神楽は久しぶりの出演でしたが大分から伝わったとの事で他の神楽とは衣装や舞の所作が少し違うなど感じましたが、いずれの神楽も素晴らしかったです。山都町が6つの神楽保存会を有すること

に誇りを持ち、末永く続けていただくために多くの町民の皆様

1月31日に第3回山都町子ども議会が開かれました。各中学校から選出された議員一人ひとりが地域の課題を的確にとらえておられ、解決策まで提案頂きました。蘇陽中の議員からはそよ風パーク、馬見原商店街、他学校との交流、学校施設の整備・改善、矢部中の議員からは通潤橋英語ボランティアガイド、レクタサイクル、山都町グランドデザインに対する提言、コミュニティバスの有効活用、清和中の議員からはふるさと納税の活性化、農業体験を通じた移住対策、IT関連企業の更なる誘致、マラソン大会等イベント開催による魅力発信等の発言・提案があり、各課長が答弁をしたところです。すべての質問に満足な解決策を出すことは出来ませんが、

でした。貴重な提言を今後の町政に活かして参ります。蘇陽中の高野議長の見事な采配で閉会することが出来ました。議長をはじめ議員の方々においては、勉強・クラブ活動等これからは、頑張ってください。